

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	「まなび力」の視点から ○基礎・基本の徹底 ○「知力・体力・人間力」の向上 ○生徒主体の活動を多く取り入れた「学びの質」の向上 「きずな力」の視点から ○「多様な価値観や違い」を認め、「自他の尊重」を行動として実行できる生徒の育成	「しぐさ力」の視点から ○やるべきことをいつでもどこでも発揮できる「本物の力」の育成 ○普段の生活（基本的生活習慣）の充実
------------------	--	---

2 学校教育目標	夢に向かう颯爽とした生徒の育成 ～「嬉中まなび力」「嬉中しぐさ力」「嬉中きずな力」～
----------	---

3 本年度の重点目標	1 学力の向上・・・「小中連携による学力向上推進地域指定事業」を活用した学力向上対策（西部型授業の徹底、学習規律・家庭学習の定着） 2 たくましさと自信の育成・・・家庭や地域連携を強化した、指導・評価・支援（基本的生活習慣の定着、不登校支援） 3 人権意識の向上・・・様々な価値観や違いを認め合う人間関係づくり（人権・同和教育、道徳、学活等）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・西部型授業の徹底。 ・ITを積極的に活用し、生徒一人一人の能力に応じてきめ細かな指導を行う。						
	○学習意識向上・学習規律・家庭学習の定着	○毎日家庭学習のできる生徒85%以上 ○課題・宿題の提出率85%	・小中連携を生かした9年間の計画的な学習指導を進める。 ・自主学習について、具体的方策を提示する。 ・個に応じた課題の質や量を工夫する。 ・家庭での学習時間や生活リズムについて振り返らせる。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権・同和教育、道徳等を基本においた人権意識の向上 ○コミュニティ・スクールを活用した地域との連携の充実	・QUテストの考察を行い、人権の視点に立った授業や体験活動を行う。 ・「生きる力」の教科書を使用し、人とのかかわりについて考えさせる。 ・時代に即したLGBT教育に取り組む。 ・コミュニティ・スクールを基盤とした地域行事への積極的参加を促す。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめを受けていない、いじめをしていない、いじめを見逃していない」という回答が95%以上 ○「いじめ」の認知を5件以下	・「いじめ」に関する定期的な指導と喚起を促し、予防と撲滅を図る。 ・情報リテラシーについての知識を高め、SNSの危険性への意識を高めさせる。 ・教育相談活動の充実を図る。						
	○おもてなしの精神できちんとした挨拶と毎日の丁寧な掃除	・「挨拶ができていない」の項目の好意的な評価が90%以上 ・「掃除を時間いっぱい意欲的に行っている」の項目で好意的な評価が90%以上	・挨拶の目的と意味を知らせ、場に応じたやり方を指導する。 ・掃除では、年度初めに掃除の仕方を身につけさせ、継続的に指導を行う。						
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上	・家庭と連携し、「朝ごはん」に積極的に取り組む。 ・給食へ感謝する気持ちをもたせる。 ・気候や感性状況を意識し、自己の健康管理を意欲させていく。						
	○望ましい生活習慣の形成	○時間を意識して、規律ある生活をおくれる生徒85%以上	・家庭と連携し、「早寝、早起き、朝ごはん」に積極的に取り組む。 ・ノーテレビ・ノーゲームデーとの取組と連携し、家庭での時間の使い方の改善を図る。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・効果的・効率的な業務推進						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上		・指導方法の研修を深め、学習環境のUD化を進める。 ・特別支援委員会やケース会議を適宜開催し、学校全体での支援体制を構築する。 ・特別支援スーパーバイザーの指導助言を日々の教育活動に取り入れる。						

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--